

平成 22 年度「旧法人決算」事業概要報告書

(平成 22 年 4 月 1 日～8 月 31 日)

本 部

(敬称略)

実 施 事 業	概 要
<p>1. 研究助成事業</p> <p>1) 研究奨励賞</p> <p>2) 国際交流基金による助成金交付</p> <p>3) アボット ジャパン・アレルギー学術奨励賞</p> <p>4) 自由課題研究助成</p>	<p>アレルギー・免疫分野の臨床研究者に対する研究助成 応募者 6 名の中から研究助成委員会の審査により下記 1 名の研究者に対して研究奨励金を支給決定 小賀 徹 (京都大学大学院医学研究科) 「気管支喘息の気道リモデリング機序と新規治療薬の開発に向けた研究」</p> <p>日本人の海外での研究発表等、外国人の日本での研究発表、講演 に対して交付 下記応募者 4 名に対して助成金交付 際本拓未 (筑波大学附属病院) 大西広志 (高知大学医学部) 石田晃弘 (山形大学医学部) Mario Di Gioacchino (イタリア)</p> <p>平成 22 年 7 月 23 日 (金) 審査委員会開催 第 20 回の応募者 12 名の中から下記 3 名の研究者に受賞決定 本田哲也 (京都大学医学部附属病院) 「二光子顕微鏡を用いた皮膚免疫ダイナミクスの可視化および 全身免疫への関与の解明」 河野 肇 (帝京大学医学部) 「アレルギー性気道炎症における IL-1 およびインフラマソーム の関与の検討」 鈴木元彦 (名古屋市立大学大学院) 「siRNA により誘導された抗原特異的制御性 T 細胞による新しい アレルギー治療の開発」</p> <p>中山俊憲 (千葉大学大学院) 「NKT 細胞および Th2 細胞によるアレルギー制御機構の解明」 金廣有彦 (岡山大学病院) 「喘息診断に有用となる指標の検討」 足立雄一 (富山大学医学部) 「乳幼児喘息におけるブデソニド吸入用懸濁剤導入時にプロカ テロール塩酸塩水和物吸入液との混合液にて吸入することの有 用性と安全性の検討」 大林浩幸 (東濃厚生病院) 「ICS/LABA 合剤 (シムビコート®とアドエア®) の気管支喘息 患者における末梢気道炎症抑制効果の比較検討」 藤澤隆夫 (国立病院機構三重病院) 「気管支喘息における呼気流速非依存性 NO 濃度測定の臨床的 意義に関する研究」</p>
<p>2. 啓発活動事業</p> <p>1) 患者相談協力専門医等名簿の発行準備</p> <p>2) 専門医等紹介事業</p>	<p>「平成 22 年度版 患者相談協力専門医等名簿」発行のためのアン ケート実施</p> <p>患者さんからの電話による問い合わせに対して専門医等を紹介</p>

実施事業	概要
3. 学術情報活動事業 「info Allergy」発行	アレルギー疾患の治療に携わる専門医、一般医、コメディカル向けに2回発行、配布
4. 広報活動事業 ホームページでの情報提供	JAANet Station の名称で情報提供
5. 受託抗原輸入代行業	研究目的のため、研究者の要請に基づき抗原の輸入代行
6. 定例会議	・第1回理事会 平成22年5月28日(金) ・第1回評議員会 平成22年6月25日(金)

北海道支部（支部長 大野重昭）

(敬称略)

実施事業	概要
1. 研究助成事業 自由課題研究助成	小池隆夫（北海道大学医学研究科・第二内科） 「抗リン脂質抗体による向血栓細胞活性化のメカニズム」
2. 啓発活動事業 1) 2010年アレルギー週間事業 (1) 函館地区（主催） 平成22年4月3日 於：函館市民会館小ホール 参加人数：88名 (2) 札幌地区（主催） 平成22年4月10日 於：札幌市医師会館 参加人数：180名 (3) 帯広地区（主催） 平成22年5月22日 於：帯広厚生病院講堂 参加人数：64名 2) 医師向け (1) 第14回北海道アレルギー研究会（主催） 平成22年6月19日 於：札幌グランドホテル 参加人数：54名 (2) 第19回札幌臨床免疫アレルギーの集い（共催） 平成22年7月21日 於：札幌医科大学臨床教育研究棟2F 臨床第一講義室 参加人数：32名	世話人：山田 豊（函館中央病院小児科） 内容：講演と医療相談「アレルギーの克服に向けて」 講師：外山 琢（江口眼科医院） 菊池めぐみ（市立函館病院耳鼻咽喉科） 横田浩一（日吉皮膚科クリニック） 鈴木敏謙（すずき小児科） 世話人：今野 哲（北海道大学第一内科） 有賀 正（北海道大学小児科） 内容：講演と医療相談「アレルギー疾患の克服をめざして」 講師：多米 淳（円山ため小児科） 高木 大（北海道大学耳鼻咽喉科） 阿部理一郎（北海道大学皮膚科） 今野 哲（北海道大学第一内科） 世話人：高村 圭（帯広厚生病院第一内科） 内容：講演と医療相談「アレルギーの最近の話題」 講師：北市伸義（北海道医療大学眼科） 高橋 豊（KKR札幌医療センター小児科） 内容：シンポジウム 特別講演：新実彰男（京都大学呼吸器内科） 「慢性咳嗽の診断と治療」 内容：一般演題2題 特別講演：坂本龍雄（独立行政法人労働安全衛生総合研究所） 「シックハウス症候群の病態解明の試み：室内化学汚染物質による神経原性炎症増幅のメカニズム」

実 施 事 業	概 要
<p>1. 研究会事業 実地医家向け研究会 (1) 福島市医師会学術講演会 日時：平成22年6月4日 会場：ホテル辰巳屋（福島市） 参加人数：60名</p> <p>(2) 第25回東北小児喘息アレルギー研究会 日時：平成22年6月19日 会場：江陽グランドホテル（仙台市） 参加人数：43名</p> <p>(3) 第20回福島県リウマチフォーラム 日時：平成22年6月19日 会場：郡山ビューホテル 参加人数：50名</p> <p>(4) 山形アレルギー膠原病・自己免疫疾患勉強会 日時：平成22年7月1日 会場：山形大学医学部第5講義室 参加人数：57名</p>	<p>【特別講演】 座長：棟方 充（福島県立医科大学医学部呼吸器内科学講座教授） 講演：石原享介（神戸市立医療センター西市民病院院長） 「日常の喘息関連の問題点」</p> <p>【パネルディスカッション】 パネリスト： 石原享介（神戸市立医療センター西市民病院院長） 海瀬俊治（大原総合病院副院長） 鈴木修三（公立藤田総合病院内科科長） 松浦圭文（太田西ノ内病院呼吸器センター長） 佐藤 俊（福島県立医科大学医学部呼吸器内科学講座）</p> <p>【一般演題Ⅰ 4題】 座長：黒沼忠由樹（国立病院機構青森病院小児科）</p> <p>【一般演題Ⅱ 4題】 座長：岸 幹二（会津中央病院小児科）</p> <p>【一般講演】 座長：岡田昌彦（米沢市立病院） （一般講演1） 講演：武田美由紀（JR 仙台病院栄養管理室） 「病院栄養士による食物アレルギー患者への栄養相談と栄養指導」 （一般講演2） 講演：由良温宣（東北労災病院薬剤部） 「小児気管支喘息における吸入剤の位置づけと吸入指導」</p> <p>【教育講演】 座長：赤坂 徹（赤坂こどもクリニック） 講演：松崎くみ子（跡見学園女子大学文学部臨床心理学教授） 「アレルギー児とその家族への心理的支援」</p> <p>【特別講演】 座長：三浦克志（宮城県立こども病院総合診療科） 講演：海老澤元宏（国立病院機構相模原病院臨床研究センターアレルギー性疾患研究部長） 「学校でのアレルギー疾患への対応 食物アレルギー・アナフィラキシーを中心に」</p> <p>【一般演題9題】 座長：川上佳夫（福島県立医科大学医学部皮膚科学講座）</p> <p>【特別講演】 座長：細矢光亮（福島県立医科大学医学部小児科学講座教授） 講演：原 寿郎（九州大学大学院医学研究院成長発達分野小児科教授） 「自己炎症性疾患」</p> <p>【一般演題2題】 座長：高木理彰（山形大学医学部整形外科学講座准教授）</p> <p>【特別講演】 講演：石井智徳（東北大学医学部血液免疫科准教授） 「関節リウマチにおける生物学的製剤」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(5) 第44回東北アレルギー懇話会 日時：平成22年7月3日 会場：八戸パークホテル 参加人数：46名</p> <p>(6) 第6回宮城県免疫アレルギー懇話会 日時：平成22年7月10日 於：ホテルコムズ仙台 参加人数：52名</p>	<p>〈当番世話人〉鹿内喜佐男（鹿内内科医院）</p> <p>【一般演題8題】 [Session1] 座長：鶴田 靖（三沢市立三沢病院小児科） [Session2] 座長：松原 篤（弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科）</p> <p>【特別講演】 座長：高梨信吾（弘前大学保健管理センター） 講演：檜澤伸之（筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻呼吸病態医学分野） 「気管支喘息－病態の多様性とテーラーメイド医療－」</p> <p>【一般演題4題】 座長：山崎研志（東北大学皮膚科）</p> <p>【特別講演】 座長：大島毅史（東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 講演：岡本美孝（千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学） 「花粉症の現状と今後の治療」</p>
<p>2. 定例会議 平成22年7月3日</p>	<p>第1回東北支部世話人会（於：八戸市）</p>

北関東支部（支部長 福田 健）

（敬称略）

実 施 事 業	概 要
<p>1. 研究助成事業 自由課題研究助成</p>	<p>馬場廣太郎（獨協医科大学） 「鼻アレルギー診療ガイドライン改定に関する研究（栃木県）」</p>
<p>2. 研究会事業</p> <p>(1) 第55回新潟アレルギー研究会 日時：平成22年6月19日（土） 於：チサンホテル&コンファレンスセンター新潟 参加人数：49名</p> <p>(2) 第8回新潟吸入療法研究会 日時：平成22年7月24日（土） 於：新潟グランドホテル 参加人数：70名</p>	<p>特別講演：足立 満（昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科部門教授） 「喘息治療の最近の考え方」</p> <p>教育講演：上原由美子（新潟市民病院小児科） 「食物アレルギー診療の現状と今後の展望」</p> <p>一般演題：2題</p> <p>特別講演：田中裕士（札幌医科大学医学部内科学第三講座准教授） 「気管支喘息とその周辺疾患における最新の治療戦略」</p> <p>一般演題：4演題</p>

実 施 事 業	概 要
1. 研究助成事業 1) 自由課題研究助成 2) 学術交流研究助成	<ul style="list-style-type: none"> ・ アレルギーおよび関連疾患領域研究の自由課題の中から下記3件に対し研究助成 山口公一（同愛記念病院） 「乳幼児気管支喘息における吸入ステロイド薬の有用性の検討」 玉置 淳（東京女子医科大学） 「咳喘息患者に対するブデソニド/ホルモテロール配合剤とキシナホ酸サルメテロールの効果に対する比較検討」 黨 康夫（同愛記念病院） 「喘息及び COPD（気腫型と非気腫型）合併患者を対象とした、喘息治療薬とチオトロピウムの併用効果及び安全性に関する臨床比較研究」 ・ 学会、研究会等に対し学術研究の助成 AR Forum2010
2. 啓発活動 患者会等への援助	アレルギー喘息患者会活動に対する援助 援助先：NPO 法人日本アレルギー友の会
3. 会議の開催	役員会開催 平成 22 年 8 月 5 日（木）

実 施 事 業	概 要
1. 研究会事業 第3回岐阜免疫・感染・川崎病研究会（後援） 日時：平成 22 年 7 月 22 日（木） 場所：岐阜グランドホテル 西館 2F ロイヤルホール 花の間	教育講演 日常診療における抗体産生不全症の基礎と臨床 講師：金子英雄（岐阜大学大学院医学系研究科地域医療医学センター小児系分野） 特別講演 小児発熱性疾患研究の新展開 講師：平塚俊男（京都大学大学院医学研究科発達小児科学） 他に一般演題 2 題

実 施 事 業	概 要
1. 研究会事業 北陸小児喘息治療研究会学術講演会（後援） 日時：平成 22 年 6 月 19 日 於：ANA CROWNE PLAZA 金沢 参加人数：50 名	1) 活動報告 中村利美（金沢医科大学小児科助教） 2) 特別講演 濱崎雄平（佐賀大学医学部小児科教授） 「小児気管支喘息：標準的診断と治療の普及を目指して」

実 施 事 業	概 要
<p>1. 研究助成事業</p> <p>1) 自由課題研究助成</p> <p>2) 学術交流研究助成 第46回日本周産期・新生児医学会学術集会 (共催)</p>	<p>井上雅美（大阪府立母子保健総合医療センター血液腫瘍科・主任部長） 「ウイルス感染症に関する研究」 片山一朗（大阪大学医学系研究科皮膚科学教室・教授） 「低刺激性、低アレルギー性化粧品 CSS09 シリーズのパッチテストによる安全性評価」 平成22年7月11日～13日（神戸市） 於：神戸国際会議場 参加人数：約2,600名</p>
<p>2. 啓発活動事業</p> <p>一般向け 喘息児童の自然に触れ合う野外教室（共催）</p>	<p>主催：大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科主任部長 土居 悟 第1回：平成22年5月23日（日） 大阪府立羽衣青少年センター・参加児 25名 第2回：平成22年8月27～29日（日） 大阪府立海洋センター・参加児 29名</p>
<p>3. 研修会事業</p> <p>(1) 第10回小児科医のための喘息治療フォーラム（共催）（大阪府） 平成22年5月22日（土） 於：シェラトン都ホテル 大阪 参加人数：107名</p> <p>(2) 奈良喘息フォーラム（共催）（奈良県） 平成22年6月17日（木） 於：ホテル日航奈良 参加人数：82名</p> <p>(3) 第12回南大阪呼吸器フォーラム（共催）（大阪府） 平成22年6月19日（土） 於：リーガロイヤル堺 参加人数：71名</p>	<p>実施医科を対象とした研究会・講演会の共催 特別講演 座長：豊島協一郎（とよしま子供クリニック） 講演：近藤直実（岐阜大学医学系小児病態学） 「現在と近未来の喘息治療」 一般演題 座長：吉田 晃（日本赤十字社和歌山医療センター） 講演1：井上壽茂（財団法人住友病院） 「小児喘息治療 この10年間の変遷」 座長：岡本奈美（済生会吹田病院） 講演2：板澤寿子（富山大学附属病院） 「小児喘息 治療の指標はどのようになったのか？」 座長：南部光彦（天理よろず相談所病院） 講演3：益子育代（国立成育医療センターアレルギー科） 「小児喘息治療における Co-Med がはたす患者教育の重要性」 座長：田口善夫（天理よろず相談所病院） 講演I：吉岡真佐恵（天理よろず相談所病院薬剤部） 「当院における吸入指導の現状と今後の取り組み」 座長：木村 弘（奈良県立医科大学） 講演II：橋本 修（日本大学医学部内科学系呼吸器内科） 「気管支喘息の病態と治療」 特別講演 座長：長坂行雄（近畿大学医学部堺病院） 講演：永井厚志（東京女子医大第一内科） 「COPD ガイドライン改訂のポイントとその活かし方」 一般演題 座長：佐々木徳久（佐々木内科クリニック） 演題I：岩垣明隆（阪和住吉病院） 「百日咳の臨床症例」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(4) 第 11 回小児・成人喘息フォーラム (共催) (大阪府) 平成 22 年 7 月 3 日 (土) 於：阪急電鉄本社ビル 参加人数：23 名</p> <p>(5) 第 47 回気管支喘息勉強会 (共催) (大阪府) 平成 22 年 7 月 24 日 (土) 於：アステラス製薬 北大阪支店 参加人数：46 名</p>	<p>演題Ⅱ：加藤元一 (市立岸和田病院) 「COPD/ における ICS/LABA 合剤の add on therapy：適応症例と効果」</p> <p>一般演題 座長：福田泰樹 (恒昭会藍野病院) 講演Ⅰ：玉城裕史 (大阪医科大学) 「小児気管支喘息の急性発作とウイルス感染」 座長：河上千尋 (大阪医科大学) 講演Ⅱ：藤田一彦 (大阪医科大学附属病院呼吸器科) 「気道感染と気管支喘息～気管支喘息急性発作を中心に」</p> <p>テーマ「こどもの咳は、なおせますか？」 司会：末廣 豊 (大阪府済生会中津病院) 谷内昇一郎 (関西医科大学)</p> <p>特別講演 新実彰男 (京都大学医学系研究科呼吸器内科学) 「慢性咳嗽の実態と診断、治療の進め方」</p> <p>一般演題 講演 1：吉田之範 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 「こどもの咳について」 講演 2：川村尚久 (大阪労災病院) 「咳嗽で鑑別すべき感染症」 講演 3：久保伸夫 (大阪歯科大学) 「咳と耳鼻科的疾患」</p>
<p>4. 講演会・研修会事業</p> <p>(1) 第 65 回臨床アレルギー研究会 (共催) (大阪府) 平成 22 年 6 月 5 日 (土) 於：大日本住友製薬本社 7 階 参加人数：88 名</p>	<p>関西一円のアレルギー専門医を対象とした講習会</p> <p>セッションⅠ 座長：亀田 誠 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 演者：中田恭介 他 (神戸大学医学研究科呼吸器内科) 「幼少期のアレルギー性気道炎症の形成における FcRn の役割の検討」 演者：矢島裕子 他 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 「コントロールに経口ステロイド薬を要した重症持続型喘息の 2 幼児例」 演者：川上智子 他 (住友病院) 「小児気管支喘息患者への LABA 並びに SFC の使用経験」</p> <p>セッションⅡ 座長：新実彰男 (京都大学医学系研究科呼吸器内科学) 演者：岩橋弘樹 他 (橋本市民病院・近畿大学医学部) 「Silent chest を呈する気管支喘息大発作を呈した Emphysema with asthma の一例」 演者：竹田知史 他 (京都大学呼吸器内科) 「喘息におけるハイドロフルオロアルカン-134a プロピオン酸ベクロメタゾンとプロピオン酸フルツカゾンドライパウダーインヘラーの中核・抹消気道に対する有効性の比較検討」 演者：渡辺徹也 他 (大阪市立大学医学研究科) 「気管支喘息における Salmeterol/Fluticssone 合剤の長期効果に関する臨床的検討」 演者：塚本敬造 他 (近畿大学医学部) 「慢性閉塞性肺疾患に潜伏する好酸球性気道炎症について」</p>

実 施 事 業	概 要
	<p>セッションⅢ 座長：南部光彦（天理よろず相談所病院） 演者：平口雪子 他（大阪府済生会中津病院） 「鶏卵アレルギー児へのインフルエンザワクチン接種の 現状－保護者へのアンケート調査から－」 演者：竹村 豊（市立貝塚病院・近畿大学医学部） 「入院加療中にラテックスアレルギーを発症した女児例」</p> <p>セッションⅣ 座長：山田秀和（近畿大学医学部 皮膚科） 演者：西岡 治 他（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 「多種品目にわたる魚介類アレルギーの1例」 演者：山本容子 他（近畿大学医学部奈良病院） 「シクロスポリンが著効したアトピー性皮膚炎の一例」 演者：久保伸夫 他（大阪歯科大学、NPO 日本健康増進支援 機構、市立泉佐野病院） 「ヒノキ森林地域での小中学校耳鼻咽喉科検診」</p> <p>シンポジウム『アレルギー疾患のステロイド治療』 司会：井上壽茂（住友病院） 東田有智（近畿大学医学部） 片岡葉子（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 「アトピー性皮膚炎」 久保伸夫（大阪歯科大学） 「アレルギー性鼻炎」 末廣 豊（大阪済生会中津病院） 「小児喘息」 平田一人（大阪市立大学医学系研究科） 「成人喘息」</p>
<p>5. その他 第48回定例幹事会 平成22年6月23日（水） 於：ホテルグランヴィア大阪 出席人数：7名</p>	<p>司会：川瀬一郎（関西支部支部長） 主たる議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 公益財団法人認定申請に関する諸事項の経緯 2) 公益財団法人認定後、定款で定める各「委員会運営細則」 確認・同意（特に研究助成委員会・真鍋奨学助成資金運営委 員会細則に関して） 3) 関西支部平成22年度 事業計画・収支予算案の同意・確認 市民啓発活動事業の拡大・賛助会員の拡大に更なる尽力

実 施 事 業	概 要
<p>1. 啓発活動事業 医師向け</p> <p>(1) 第17回岡山アレルギーを考える会 平成22年6月6日(日) 14:00~16:00 岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール(岡山市) 参加人数:約50名</p> <p>(2) 第6回中国・四国喘息研究フォーラム 平成22年8月28日(日) 10:00~15:00 ホテルグランヴィア岡山(岡山市) 参加人数:約80名</p>	<p>テーマ「小児気管支喘息治療・管理ガイドライン」</p> <p>1) 講演 春摘 誠(倉敷市立児島市民病院小児科) 「小児気管支喘息の診断、重症度分類、危険因子とその予防」 喜多村哲朗(日本鋼管福山病院小児科小児科感染免疫専門部長) 「JPGL2008に基づく小児気管支喘息急性発作の管理」</p> <p>2) 特別講演 井上壽茂(住友病院小児科診療局長) 「JPGL2008に基づく小児気管支喘息の長期管理」</p> <p>【一般講演】 尾長谷靖(川崎医科大学呼吸器内科講師) 「吸入ステロイド治療を継続中の喘息患者の吸気流速と背景因子の関連性調査」 宮原信明(岡山大学病院呼吸器・アレルギー内科助教) 「吸入ステロイド薬に関する最近の話題」</p> <p>【特別講演Ⅰ】 守分 正(国立病院機構岩国医療センター小児科育成医療診療部長) 「新型インフルエンザ呼吸器症状の検討」</p> <p>【特別講演Ⅱ】 谷口正実(国立病院機構相模原病院統轄診療部外来部長) 「増加する成人喘息、その残された課題」</p>
<p>2. 研究会事業 第22回中国・四国臨床アレルギー研究会 平成22年8月27日(土) 14:00~16:00 岡山国際交流センター 2F 国際会議場 (岡山市) 参加人数:45名</p>	<p>一般演題 11題 竹山博泰(山口アレルギー呼吸器病センター) 特別話題 「慢性咳嗽外来の方法と注意点ー抗酸菌感染と百日咳感染の考察を含めてー」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>1. 研究会事業</p> <p>(1) 徳島喘息勉強会 平成22年4月16日 於:徳島グランヴィリオホテル 参加人数:16名</p> <p>(2) 徳島リウマチセミナー 平成22年5月26日 於:ホテルクレメント徳島 参加人数:72名</p> <p>(3) 徳島ICS喘息治療研究会 平成22年6月8日 於:ホテルクレメント徳島 参加人数:63名</p>	<p>大田 健(帝京大学医学部内科) 「喘息死ゼロ作戦の全貌」</p> <p>宮坂信行(東京医科歯科大学膠原病・リウマチ内科) 「RA治療に生物学的製剤にもたらしたもの」</p> <p>相良博典(獨協医科大学越谷病院呼吸器内科) 「喘息の基本病態から考える治療のノウハウ」</p>

実 施 事 業	概 要
(4) 第1回高知気道・アレルギー研究会 平成22年6月17日 於：ラ・ヴィータ 参加人数：44名	佐野博幸（近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科） 「鼻炎と喘息の関連－上気道が下気道に与える影響」 増山敬祐（山梨大学大学院医学工学総合研究部耳鼻咽喉科学・ 頭頸部外科学） 「炎症性疾患としての鼻炎－治療戦略－」
(5) Asthma symposium 2010 in 徳島 平成22年6月22日 於：徳島グランヴィリオホテル 参加人数：37名	橋本 修（日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野） 「現在の喘息治療の検証、そして進化」
(6) 阿南医師会学術講演会 平成22年7月21日 於：阿南医師会中央病院 参加人数：30名	吾妻雅彦（徳島大学病院呼吸器・膠原病内科） 「気管支喘息の最近の話題」

九州支部（支部長 西間三馨）

（敬称略）

実 施 事 業	概 要
1. 研究助成事業 空中花粉調査研究	1) 福岡市2ヶ所の耳鼻科医院において、問診表による花粉症発症状況調査。2ヶ所の耳鼻科において、スギ花粉症患者受診数と花粉飛散量との経年関係検討 2) 九州各県の大学耳鼻科における九州の空中花粉調査(23年目) 3) 花粉情報 福岡県、九州各県花粉情報広報活動 （福岡県医師会、九州各県医師会と日本気象協会福岡本部との共同活動） 新聞、ラジオ、テレビ 4) 日本列島の空中花粉分布調査 全国15ヶ所で花粉を採取し、福岡病院で算定し、花粉地図、カレンダー作成
2. 啓発活動事業 (1) 一般向け 喘息市民公開講座 日時：平成22年7月25日（日） 場所：大分東洋ホテル2F「二豊の間」 参加人数：109名	演題：喘息発作ゼロをめざして 講師：大林浩幸（JA 岐阜厚生連東濃厚生病院アレルギー呼吸器科部長）
(2) 第40回喘息児サマーキャンプ 日時：平成22年8月3日～6日 （3泊4日） 場所：福岡県立英彦山青年の家	ぜんそくに打ち勝つためとレクレーションをかねて 参加人数：38名
(3) 第34回喘息児水泳教室 日時：平成22年4月1日～8月31日	延人数：934名
(4) アレルギー談話室	KBC ラジオ放送 平成22年8月29日で1612回